



▲クッキーのプリントも印刷会社ならではのクオリティ。記念品にピッタリ!  
▲半世紀近くにわたり培ったシール印刷への信頼は絶大



【信用ラベル】  
新倉1-5-33  
☎458-3272  
(クレディ・エチケット)  
営業時間/9:00~18:00  
定休日/土日祝日

クレディ・エチケット  
<https://www.cookie-print.com>  
クレディ・プリント  
<https://www.credit-print.com>



マグカップへのプリントや木に彫り込む印刷もお手のもの

信用ラベルからの  
お知らせ!

2月中、モバイルバッテリーの片面プリント(定価2,200円)を1,500円にてご提供します。ご注文時に「広報わこうを見た」とお伝えください!

コロナ禍に負けず頑張る商店や事業所を紹介する新シリーズ『コロナに負けるな!頑張る和光の仲間たち』。今回は、シール印刷をはじめ多種多様なプリントを手がける「信用ラベル」のご紹介です。

代表を務める多恵豊さんのお父様が昭和50年に創業。自動販売機などに貼付する工業ラベルの製作を手がけ、その名の通り信用と実績を積み重ねてきました。そんな同社の業務内容を一気に拡大したのが5年前。「目標は水と空気以外なんでもプリントする!」と豪語する現社長の多恵さんが、クッキーへのフードプリントを発案したことがきっかけでした。

「妻が栄養士の資格を持っており、それを活かして何か新しいことができるかと。反響も上々で、結婚式場やテレビ局など多方面から引き合いをいただいています」と多恵社長。その1年後には、早くも新たな分野へ。

「オリジナルのTシャツが欲しいと思い、自分で作ってみたいんです。すると、それがカーレースの関係者の目にとまり、レーシングスーツのプリントを開

始。現在ではマグカップ、ワッペン、ボトル、モバイルバッテリーなどサービスの幅を広げ、私の目標に少しずつ近づいています(笑)。

アイデアの源はすべて「自分が欲しいもの」というだけに、今も新しいアイデアが次々と浮かんでくるといいます。もちろん、お客様からのリクエストも大歓迎。「こんなものにプリントできますか?こんなものは製作できますか?というご希望がありましたら、ぜひお気軽にお問い合わせください!」と目を輝かせます。

最後に、こんなメッセージをいただきました。「スマホの画像データやプリントした写真、さらには手描きのイラストなどからも製作可能です。クッキーのプリントは『クレディ・エチケット』、グッズのプリントは『クレディ・プリント』のブランド名でそれぞれHPがありますので、詳しくはそちらをご覧ください。ぜひ、世界にひとつのアイテムを作りましょう!」。

今回は、和光ブランド認定の新倉うどんを製造する『鈴木製麺所』です!

## しばさき市長の 一歩前へ! 06



### EveryGo

先月から、市役所駐車場の一角で、ホンダモビリティサービスのカーシェアサービス“EveryGo”による実証実験を開始しました。市職員が業務として利用するときは庁用車として使用し、それ以外は通常のカーシェアリングとして、みなさまにお使いいただけるというものです(会員登録が必要です)。現在、庁用車は約50台あり、稼働状況を考慮すると足りない、と感じる部分もありました。ただし、災害など不測の事態を考えると簡単に減らせない、というのが実情です。ですので、このカーシェアは素晴らしいアイデアだと思います。市役所のほか、広沢複合施設と中央公民館(3月開始)でも、同様の試みを始めています。ぜひご利用ください。

市は、このハイブリットカーによるカーシェアの取り組みをはじめ、市内公共施設の照明のLED化や朝霞市と設置するごみ焼却場で排出される熱エネルギーの再利用の検討など、SDGsの取り組みを進めています。資源が限られてきた現在、省エネルギーを進めることを通じて、未来が拓けていくように感じます。また、同じ時間や経験を共有することで、地域力を高めることにもつながると思います。SDGsの促進は自然なこととして、楽しみながら前進していくことを目指し、今年も走っていきたく思います。



## 特派員レポート

### 太古の昔から豊かな暮らしが根付いていた和光市

まちの見聞特派員 犬竹 真由美

和光市には、はるか昔の暮らしを物語る遺跡が43か所も発掘されています。その中の一つ、午王山遺跡は令和2年3月10日、国指定史跡に指定されました。多くの土器や銅鐸形土製品、土鈴、帯状円環銅釧などの祭祀品も検出していることから、関東を代表する弥生時代の集落遺跡といえるようです。昭和54年の第1次調査から平成23年度の第15次調査までの間に、なんと、旧石器時代からの複合遺跡であることが判明しているとのこと。気の遠くなるような長い年月変わらずに、この和光の地に人々の生活が営まれ続けてきた。つまりそれは肥沃な大地と豊富な水資源に恵まれ、自然災害が少なかったことを物語っています。

今、日本中のあちこちで農薬散布や産業廃棄物の不法投棄などで土や川、地下水が汚染され、さらにCO2削減と称して森林を伐採してソーラー

パネルを取り付けることが原因で土砂災害が頻発しています(そのソーラーパネルも数十年後、再生不可能な廃棄物となり自然を破壊することになるのでしょうか)。私たちは「目先の便利さ」や「まやかしの幸せ」のために、長い年月繁栄してきた日本の歴史に終止符を打とうとしているのではないのでしょうか。せめて、この和光市の地を守ってきたご先祖様方に感謝をすると共に、自然がもたらした豊かな環境を壊すことなく、次の世代に繋げることが私たちの役目なのではないかと思ひます。

